

<議題①: 台風 15 号における鉄塔及び電柱の損壊事故の原因調査について>

(1) 鉄塔について

○基礎部分のコンクリートの破壊状況から、コンクリートの割裂は鉄塔の倒壊時の過大な変形に伴って生じたと推測される。鋼材も基礎コンクリート中に定着されたままであり、コンクリートの割裂破壊は鉄塔倒壊の要因ではないと考える。

○一部の部材の座屈に起因して鉄塔が即座に構造体として倒壊するのか、あるいはある程度の余裕度があるのかを非線形解析を行い確認し、鉄塔の構造体としてのロバスト性(外乱影響耐性)・冗長性を確認する必要がある。

<議題②: 事故原因を踏まえた現行の技術基準の適切性について>

(1) 鉄塔について

○設計時の想定を超えた外力が作用する場合を想定し、一部の部材が限界値を超えても倒壊に至らないような、ロバスト性(外乱影響耐性)・冗長性のある構造設計についても考えるのがよいと考える。

(2) 電柱について

○二次被害が主な原因と確認されれば、技術基準の風速設定を見直すのではなく、二次被害防止対策を主として進める方針は適切と考える。

<議題③: 中間整理(案)について>

○鉄塔に関する技術基準の見直しにあたり、作用側だけでなく抵抗側の措置として、鉄塔の構造設計におけるロバスト性(外乱影響耐性)・冗長性の確認の観点も考えられる。

以上